

2017年12月期 第1四半期 決算説明会

井関農機株式会社
取締役 副社長執行役員
富安 司郎

2017年5月19日

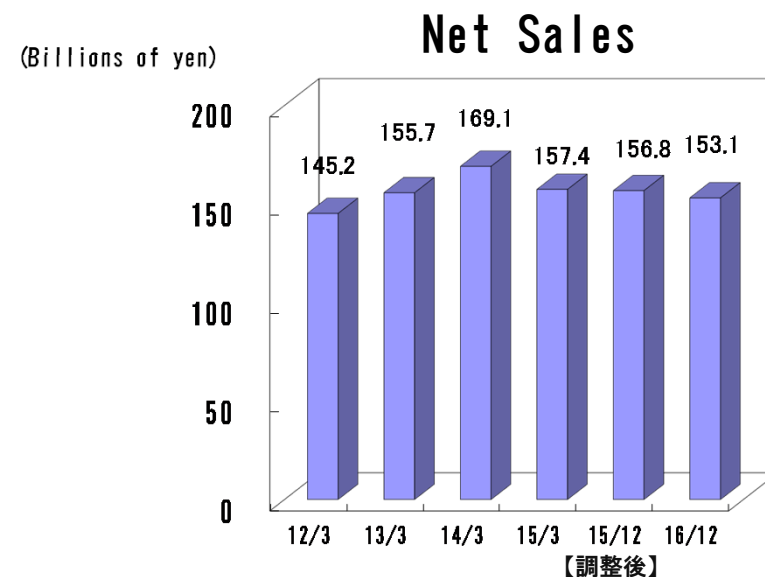


REVOLUTION X SPARK = RESPA

目次

1. 2017年12月期 第1四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2017年12月期 業績予想

1. 2017年12月期 第1四半期業績の概要



※第1四半期業績のポイント

【第1四半期（1～3月）の状況】

◆国内農機製品実売は回復基調に

- ・国内販社農機製品契約高 107%

◆伊予初生産子会社は創業赤字から黒字転換

◆中国持分法会社は大幅改善

第1四半期 連結業績の概要

(単位：億円、%)

	16/12期 1Q		17/12期 1Q		前年同期比 増 減	計画比 増 減
	実 績	比率	実 績	比率		
売上高	377	100.0	367	100.0	△10	△ 1
(国内)	282	74.8	285	77.7	+ 3	△ 3
(海外)	95	25.2	82	22.3	△13	+ 2
営業利益	△ 4	△1.1	△ 3	△0.8	+ 1	+ 5
経常利益	△ 7	△1.9	△ 4	△1.1	+ 3	+ 5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 6	△1.6	△ 6	△1.6	-	+ 4
為替 米ドル	117.3		113.7		△3.6	△1.3
レート ユーロ	128.1		121.5		△6.6	+1.5

国内売上高の内訳

(単位：億円)

		16/12期1Q 実績	17/12期1Q 実績	前年同期比		計画比 増減	
				増減	備考		
農機 関連	農機製品	整地機	77	76	△ 1	トラクタ : △ 1	△ 1
		栽培機	24	19	△ 5	田植機 : △ 4	-
		収穫調製機	30	30	-		+ 1
	小計		131	125	△ 6		-
	農機 関連	作業機	44	47	+ 3		-
		部品	27	27	-		-
		修理収入	10	10	-		-
		小計	81	84	+ 3		-
	計		212	209	△ 3		-
	施設工事		21	28	+ 7		-
その他農業関連		49	48	△ 1		△ 3	
合計		282	285	+ 3		△ 3	

海外売上高の内訳

(単位：億円)

	16/12期1Q	17/12期1Q	前年同期比		計画比
	実績	実績	増減	備考	増減
北米	25	10	△15	トラクタ：△14	+ 1
欧州	31	19	△12	トラクタ：△ 6 芝刈機：△ 6	△10
中国	15	17	+ 2	田植機：+ 3	+ 1
アセアン	7	13	+ 6	コンバイン：+ 6	+ 6
その他	10	13	+ 3	トラクタ：+ 2	-
製品計	88	72	△16		△ 2
部品その他	7	10	+ 3		+ 4
合計	95	82	△13		+ 2

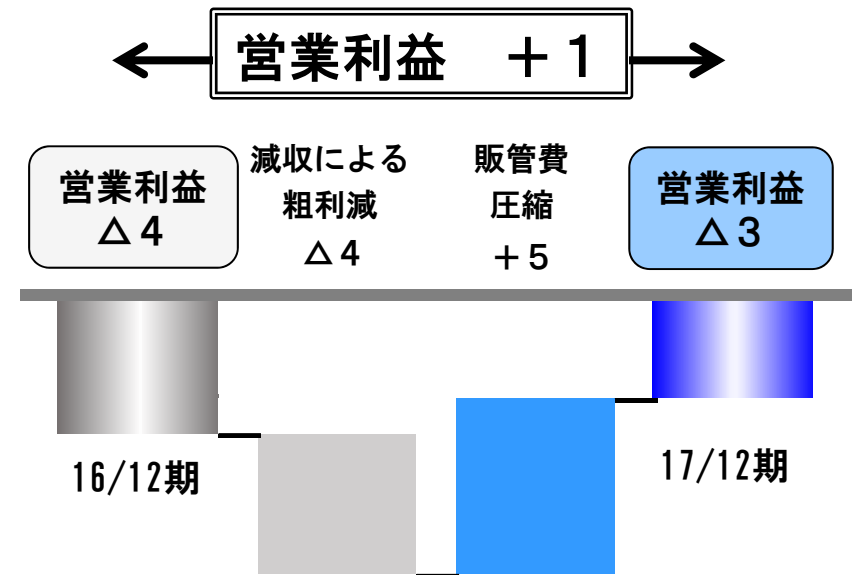
※フランス子会社のみ9月決算のため、10-12月実績を連結している

営業利益

(単位：億円、%)

	16/12期 1Q 実績	17/12期 1Q 実績	前年 同期比 増減	計画比 増減
売上高	377	367	△10	△1
売上総利益	105	101	△4	△1
粗利率	27.8%	27.5%	△0.3%	△0.2%
販管費	109	104	△5	△6
人件費	63	61	△2	△3
その他経費	46	43	△3	△3
営業利益	△4	△3	+1	+5

【前年同期比 増減内訳(億円)】



【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
△2	+2	0	0

経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	16/12期 1Q 実績	17/12期 1Q 実績	前年 同期比 増減	計画比 増減
営業利益	△ 4	△ 3	+ 1	+ 5
金融収支	△ 2	△ 2	-	-
その他営業外損益	△ 1	+ 1	+ 2	-
経常利益	△ 7	△ 4	+ 3	+ 5
特別利益	+ 4	-	△ 4	-
特別損失	-	-	-	-
税前利益	△ 3	△ 4	△ 1	+ 5
税、税調整額	△ 3	△ 2	+ 1	△ 1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 6	△ 6	-	+ 4

【前年同期比 増減内訳】

営業外損益内訳	
為替差損の減少	+1億円
持分法投資損益好転	+1億円
特別損益内訳	
投資有価証券売却益	△4億円

バランスシート(連結)

(単位：億円)

	16/3月末	17/3月末	増 減		16/3月末	17/3月末	増 減
現 預 金	152	87	△65	仕 入 債 務	412	445	+33
売 上 債 権	307	332	+25	有 利 子 負 債	800	771	△29
棚 卸 資 産	493	542	+49	(内 借 入 金)	(710)	(692)	(△18)
(内 製 品 ・ 商 品)	(422)	(465)	(+43)	そ の 他 負 債	244	234	△10
そ の 他 流 動 資 産	46	49	+ 3	負 債 計	1,456	1,450	△ 6
流 動 資 産 計	998	1,010	+12	純 資 産	660	659	△ 1
有 形 ・ 無 形 固 定 資 産	981	974	△ 7	(利 益 剰 余 金)	(126)	(131)	(+ 5)
投 資 そ の 他 資 産	137	125	△12	(有 価 証 券 評 価 差 額 金)	(11)	(11)	(-)
(投 資 有 価 証 券)	(64)	(61)	(△ 3)	(為 替 換 算 調 整 勘 定)	(11)	(8)	(△ 3)
固 定 資 産 計	1,118	1,099	△19	負 債 ・ 純 資 産 計	2,116	2,109	△ 7
資 産 合 計	2,116	2,109	△ 7				

2. 国内外市場の動向

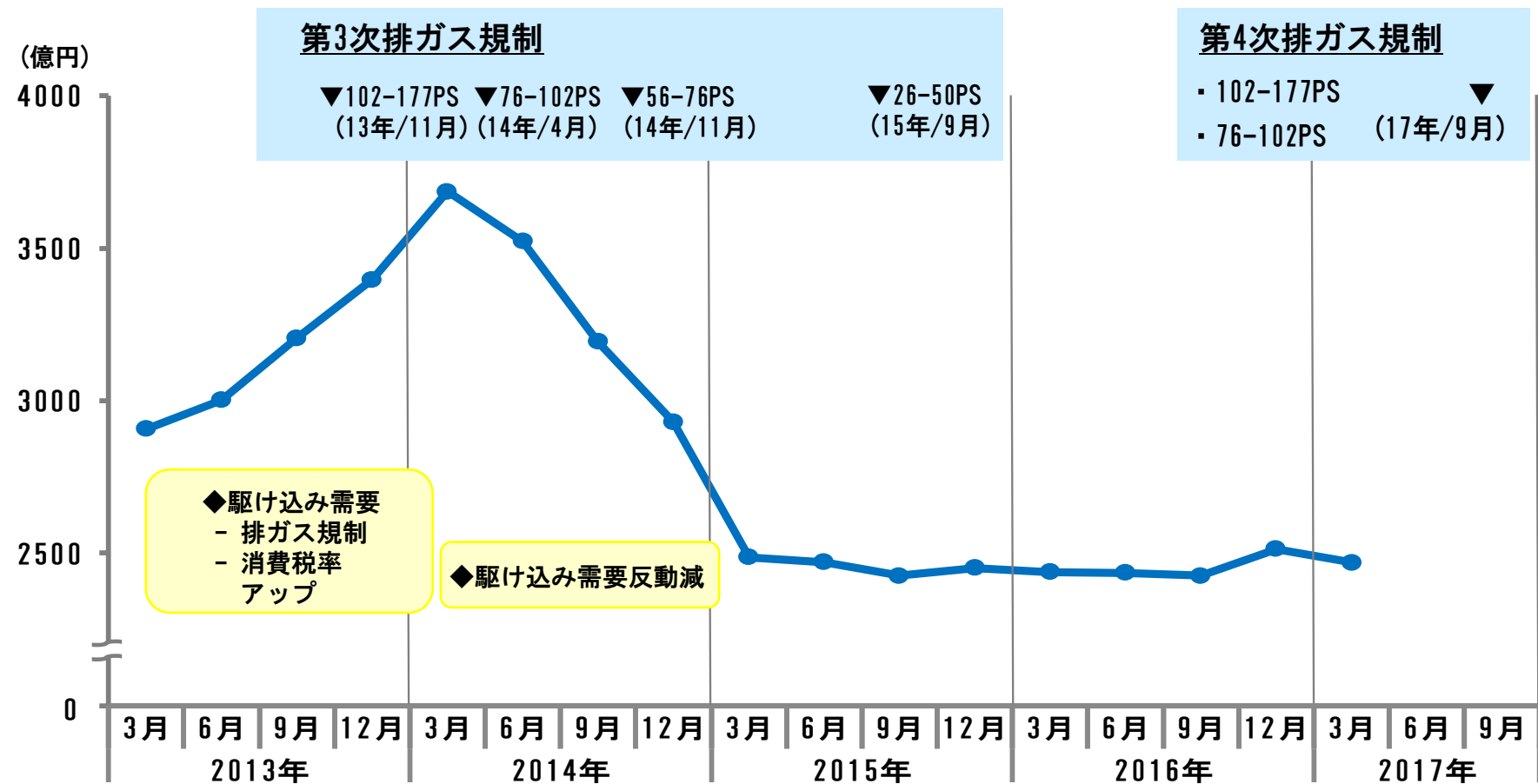


スマート田植機 第二弾 直進アシスト仕様

(2017年12月発売予定)

国内市場の動向

農機需要〔業界出荷〕 (主要9機種・移動年計)



国内農機出荷と当社状況

主要9機種 前年伸長率(金額、移動年計) ※当社推計

(単位：%)		14/3	15/3	16/3	17/3
業界	(出荷金額)	127	67	98	101
当社	(実売金額)	117	73	107	91

国内 当社の取組み

新時代農業への提案強化

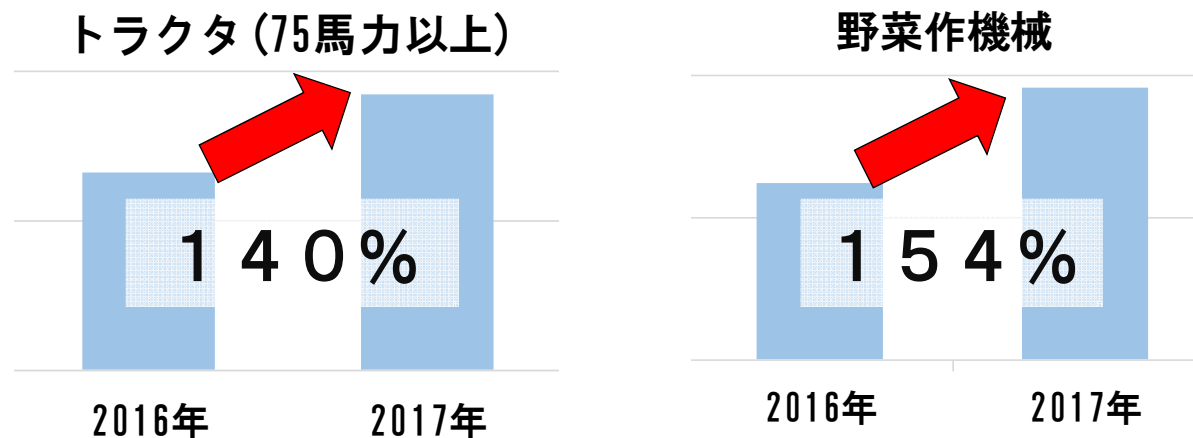
“農業構造の変化”

大規模化

作付転換

先端技術

＜大型機械、野菜作機械当社実売金額伸び率(1～3月)＞



国内 新時代農業への対応






夢ある（儲かる）農業実現に向けて

1. シンプル仕様低価格機商品化
2. 生産資材費削減
3. 野菜作機械化
4. 先端技術活用

シンプル仕様低価格機商品化

○シンプル仕様、標準仕様の2ライン構成

<トラクタ例>

	シンプル仕様	標準・充実仕様	価格差
大型	T J Xシリーズ ・ 77 PS 7, 128 (千円) 	T J V 3シリーズ ・ 78 PS 8, 791 (千円) 	約 1 6 6 万円 (▲19%)
中型	N T 3シリーズ ・ 34 PS 4, 157 (千円) 	N T A 3シリーズ ・ 34 PS 4, 707 (千円) 	約 5 5 万円 (▲12%)
小型	Z 1 5 ・ 15 PS 1, 220 (千円) 	T M 5シリーズ ・ 16 PS 1, 633 (千円) 	約 4 1 万円 (▲25%)

つくばみらい事業所 3月 完成オープン

夢総研



先端営農技術

野菜作コーナー 新 設



野菜作

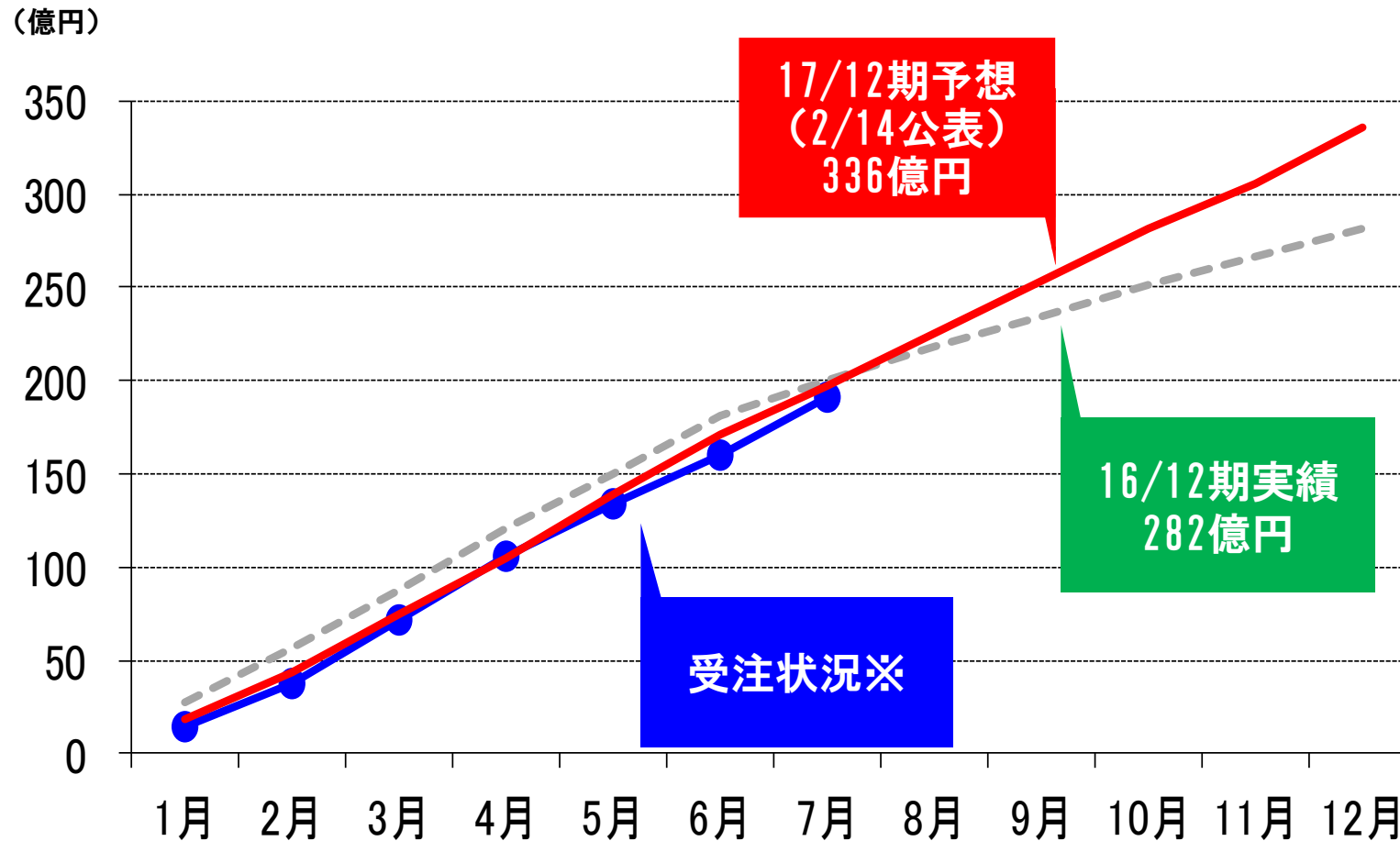
ISEKIグローバル トレーニングセンター (IGTC)



技術サービス

新時代農業を “提案” & “サポート”

海外製品売上の直近状況



※17/12期受注（1-7月）：1-7月の売上見通し。「部品 その他」は含まず

海外市場の動向 (北米)

1. 市場の動向

(単位：千台、%)

区分 (PTO馬力)	ユーティリティ (40~100HP)		コンパクト (40HP以下)			
	米国	カナダ	米国	カナダ		
2016年1-3月	12	1	13	23	2	25
2017年1-3月	11	1	12	26	2	29
増減率	96	117	98	114	140	116

(出所：AEM統計)



2. AGCO社(OEM先)の状況

実売台数 (17/1-3月)

- ユーティリティ : 前年を上回る
- コンパクト : 前年を上回る

3. 当社の状況

出荷・受注 (17/1-7月) : 計画を下回る

コンパクト堅調で下期受注増見込む

北米向け当社売上高(当社→AGCO社)の推移



海外市場の動向（欧州）

1. 市場の動向

景観整備市場：足許の天候は良好。
今後ガーデン製品の需要増が期待される。

2. 販売代理店の状況

➤ 実売台数

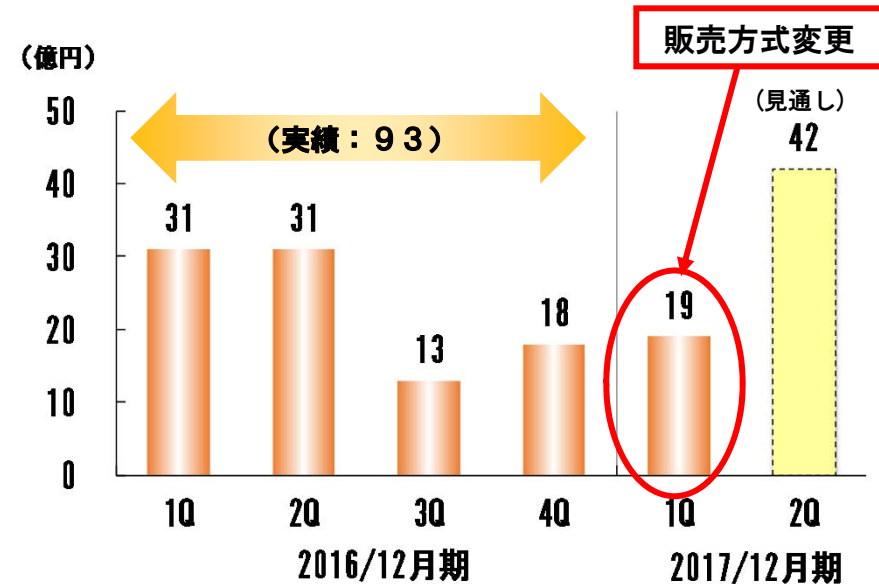
- ・ 現地販売代理店 (1-3月)：前年を上回る
- ・ ISEKI フランス (1-3月)：前年を上回る
(連結子会社) (10-3月)：前年並み

3. 当社の状況

出荷・受注 (17/1-7月)：計画を下回る

- ・ 第1四半期は万一販売方式変更もあり減少。
- ・ 現地代理店の販売状況は好調。下期受注増見込む。

当社売上高の推移 (欧州)



※第1四半期

- ・ 当社→欧州向け出荷 1- 3月
- ・ フランス子会社売上 10-12月を連結

海外市場の動向（アセアン：タイ）

1. 市場の動向

足許の米価は低調に推移。引き続き農業を取り巻く環境は厳しい。

2. 現地販売会社〔ISEKI SALES (THAILAND)〕の状況

【三菱商事80%、当社20%出資】

アセアン戦略トラクタ

- ・ 実売台数(17/1-3月) : 前年を上回る

- ・ 下期：買収した新規販売店での
当社トラクタ販売開始
- ・ 昨年投入の汎用コンバイン増販図る



海外市場の動向（アセアン：その他）

1. 国別の状況

■インドネシア

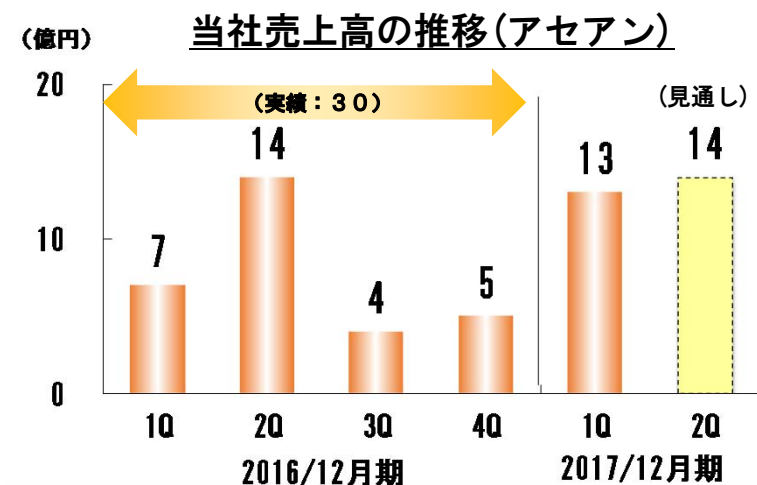
市場動向：2015年から続く政府主導の機械化推進による農機普及の後押し。
当社状況：昨年投入の汎用コンバインの受注好調。

■ベトナム

市場動向：機械化進展により需要が見込める。
当社状況：汎用コンバイン受注増。計画・前年共に上回り推移。

2. アセアン総括

機械化進展による需要拡大。
ISEKIタイランド(現地法人)
パーツセンター5月末稼働
⇒サポート体制強化



海外市場の動向（中国）

1. 市場の動向

大型化、高能率機械、先端技術、環境への補助金支給増加

■中央政府補助金

（億元）

2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
215	217.5	238	238	237	186

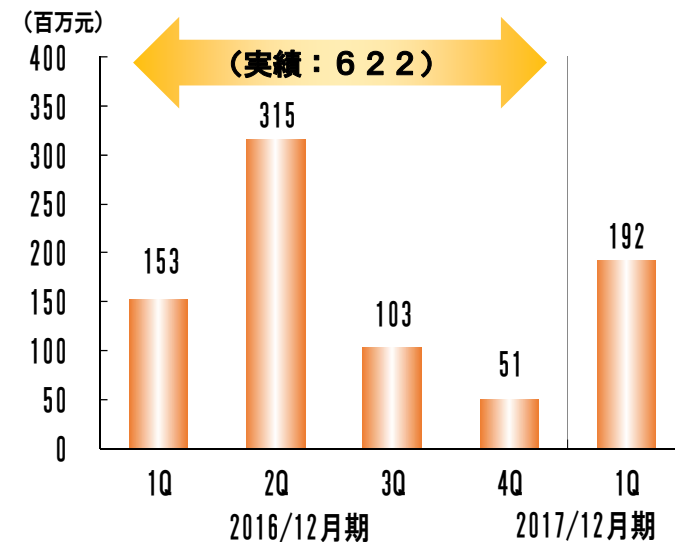
2. 東風井関の状況

東風井関の販売台数(17/1-3月)

- 田植機(乗用) : 前年を上回る
- コンバイン : 前年を上回る

*中国から東南アジアなどへの輸出は含まず

東風井関売上高推移(現地通貨ベース)



3. 2017年12月期 業績予想



中国向け高馬力トラクタ
T954

2017年12月期 業績予想

連結業績予想

(単位：億円)

	16/12期 実績		17/12期 予想 (2月14日公表)		前期比 増減	
	2Q累計	通期	2Q累計	通期	2Q累計	通期
売上高	810	1,531	812	1,615	+ 2	+ 84
営業利益	17	25	19	35	+ 2	+ 10
経常利益	13	16	22	37	+ 9	+ 21
親会社株主に帰属する 当期純利益	6	9	13	27	+ 7	+ 18

*想定為替レートは、米ドル：115円、ユーロ：120円

為替感応度(営業利益、通期ベース)

	17/12期	(単位：百万円)
米ドル	13	
ユーロ	18	

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。
 本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。



未来の
 ために、
 いま選ぼう。

井関グループは、
 環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
 促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
 「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
 環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。